

建築研究資料

Building Research Data

No. 157

March 2014

平成 25 年度建築研究所講演会資料

Proceedings of BRI Annual Symposium (FY 2013)

樋野公宏、濱崎仁、武藤正樹、萩原一郎、喜々津仁密、澤地孝男

Kimihiro Hino, Hitoshi Hamasaki, Masaki Muto, Ichiro Hagiwara,
Hitomitsu Kikitsu, Takao Sawachi

独立行政法人 建築研究所

Published by

Building Research Institute

Incorporated Administrative Agency, Japan

はしがき

建築研究所は、建築実務者はもとより広く一般の方を対象として、最新の研究成果等を発表して広く社会に還元するため、建築研究所講演会を毎年 3 月に開催しています。平成 25 年度の講演会は、平成 26 年 3 月 7 日に有楽町朝日ホール（東京都千代田区）において開催しました。

平成 25 年度の講演会では、「これからの建研の役割」をメインタイトルとし、国土交通大臣より示された中期目標における 4 つの研究開発目標の、グリーンイノベーションによる持続可能な住宅・建築・都市の実現、安全・安心な住宅・建築・都市の実現、人口減少・高齢化に対応した住宅・建築・都市ストックの維持・再生、建築・都市計画技術による国際貢献と情報化への対応を、サブタイトル「ーグリーン・安全・ストック活用・情報ー」として設定しました。

講演会では、今後建築研究所が果たすべき役割について、サブタイトルに示した 4 つの研究開発目標に対応させ、グリーン関係として建築物の省エネ性能評価と設計法、安全関係として火災被害の軽減、竜巻被害の軽減、ストック活用関係として高齢化に対応するまちづくり、建築ストックの活用促進、情報関係として建築物確認審査の情報化、の各話題を、建築研究所の研究者が取り組んできた活動の最新情報を交えて報告しました。

本資料は、平成 26 年 3 月 7 日の建築研究所講演会で発表した各話題の成果と発表内容を取りまとめたものです。本資料が、住宅、建築、都市計画に関わる方々をはじめ、広く一般の方々の参考となり、建築や都市の健全な発展の一助となれば、主催者として幸甚に存じます。

平成 26 年 3 月

独立行政法人建築研究所 理事長
坂本 雄三

概要

本資料は平成 26 年 3 月 7 日の建築研究所講演会の内容と成果を取りまとめたものである。講演会では、「これからの建研の役割」をメインタイトル、「グリーン・安全・ストック活用・情報」をサブタイトルとして設定し、今後建築研究所が果たすべき役割について、建築研究所の研究者が取り組んできた活動の最新情報を交えて以下の内容を報告した。

- ・ 高齢化に対応する安定した地域居住のためのまちづくり手法
- ・ 制度的・技術的側面からみた建築ストック活用促進のための研究
- ・ 建築物の確認審査における電子申請対応と BIM 応用の可能性
- ・ 火災被害軽減に向けた取り組みの現状と課題
- ・ 建築物の竜巻被害軽減に向けた研究と課題
- ・ 建築の省エネ性能評価と設計法の今後

ABSTRACT

These proceedings summarize the BRI Annual Symposium held on March 7, 2014.

The Building Research Institute (BRI) Annual Symposium entitled “Future Role of BRI: Green, Safe, Practical Use of Building Stock and Information” was held on March 7, 2014. In this symposium, the future role that BRI is to fulfill and the latest information of research and various activities including international training the BRI researchers have tackled were reported.

The titles of presentations are as follows;

- Study on Community Building for Stable Living of Elderly People
- Study on the Promotion of Practical Use of Building Stock from Institutional and Technical View Points
- Possibility of E-submission and BIM Technologies' Application in the Building Certification
- Current Status and Subjects towards Fire Damage Reduction
- Research and Future Issue for the Mitigation of Tornado-induced Damage to Buildings
- Perspectives on the Methods of Performance Evaluation and Design for Energy Efficient Buildings

目次

高齢化に対応する安定した地域居住のためのまちづくり手法 住宅・都市研究グループ 主任研究員 樋野 公宏	1
制度的・技術的側面からみた建築ストック活用促進のための研究 材料研究グループ 主任研究員 濱崎 仁	9
建築物の確認審査における電子申請対応と BIM 応用の可能性 建築生産研究グループ 主任研究員 武藤 正樹	25
火災被害軽減に向けた取り組みの現状と課題 防火研究グループ長 萩原 一郎	37
建築物の竜巻被害軽減に向けた研究と課題 構造研究グループ 主任研究員 喜々津 仁密	49
建築の省エネ性能評価と設計法の今後 ー既存技術の向上と普及に向けた革新的技術開発の重要性ー 環境研究グループ長 澤地 孝男	67